NIE実践報告

1．タイトル：新聞を身近な存在に　～新聞から得た情報を共有しよう～

2．学校名

静岡県下田市立下田東中学校

3．実践者名（代表者名）

野口真樹也

4．学年

全学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学級活動　１２１名

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞記事スクラップ発表会」

7．目標（狙い）

日直当番活動の一つとして、毎日、当番が新聞記事の中から気になる記事をスケッチブックにスクラップしてきたものを学級内で発表し、その発表を元に意見交換を行う。

8．評価の視点

中学生が取り上げるのにふさわしい記事を発表できているか。また、級友の発表を自己の思いを被せながら聞くことができているか。発表についての質疑応答が成立しているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞記事スクラップ発表会へ向けて」学級活動３時間
「新聞記事スクラップ発表会」学級活動１時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞全般について　（学級活動　１時間）
・新聞の読み方
・中学生として取り上げるべき種類の記事とは
②新聞記事から得られること　（学級活動　１時間）
・記事を通して読み取れることと、記者が記事を通して伝えたいと思っていること
・スクラップの仕方
③プレ発表会　（学級活動　１時間）
④新聞記事スクラップ発表会　（学級活動　１時間）

（留意点）
・スクラップ期間の前半は各新聞の静岡版に限定して記事を収集する。
・何となく気になる記事ではなく、自分の思いを被せられる記事を選ぶようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

級友がどういう種類の記事に、なぜ興味を持ったのか、大きな関心を持って活動に取り組んでいた。生徒の一人は「友達がどんな記事を取り上げ、どんな感想を言うのか、すごく興味を持てた。」と感想を述べた。

12．成果と課題

成果としては、記事を拾い上げるという目的を持って新聞に目を通すことで、単に新聞を斜め読みするのではない習慣作りができてきていることが挙げられる。新聞記事から記者の意図を読み取ろうとすることで、国語力のみならず言語感覚が高まるきっかけとなっているように感じる。
課題としては、新聞記事の中から取り上げるのにふさわしいものを取捨選択できる目を養うことは結構難しく、その解決のためには時間がかかるということが挙げられる。